

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 半田市立有脇小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
中学校 中高一貫教育 高等学校
教員養成 技術/職業教育
特別支援学校 その他（ ）
所在地 〒475-0017
愛知県半田市有脇町6丁目37番地
E-mail arisyo-t@ariwaki-e.ed.jp
Website <http://www.ariwaki-e.ed.jp/>
児童生徒数 男子 79名 女子 69名 合計 148名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<全学年参加による「かいどり」活動>

① 「かいどり」とは

「かいどり」とは、池の水を抜き、外来種駆除・環境整備等を行う活動のことである。毎年、地域の「有脇 農地・水・緑を守る会」の方々とともに、児童は活動している。

② 主な事前指導

7月…環境カウンセラーを講師に迎えての講演会を実施した。

「攻略、かいどり大作戦2015

～かいどりを行う大切さをもう一度考えてみよう～

- ・外来生物はなぜいけないのか。
- ・生物多様性とはどんなことか。
- ・自分たちにできることはどんなことか。

③ 活動のようす

3～6年生…池に入り、魚やエビなどを捕まえる。

1・2年生…事前に捕獲しておいた池の生き物を使って、県の農林水産事務所の方から、説明を聞く。上級生の活動のようすを見学する。

その他…捕獲した生き物は、在来種と外来種に選別した。また、生き物の種類や数についても調査した。

④ 成果

地域の自然を守る活動をきっかけとして、環境問題に対する興味・関心を高めることができた。また、地域の方々との交流を通して、地域のすばらしさを改めて感じ、地域愛を高めることができた。

<5年生による稲作体験学習>

① 活動のようす

総合的な学習の時間で「米から米へとつながる命」と題し、地域の「有脇 農地・水・緑を守る会」の方々の協力を受け、稲作体験学習を行った。

1学期…籾まき、田植え、田んぼの観察

2学期…かかし作り、稲刈り、脱穀、学習発表会での発表

3学期…「稲作感謝の会」の実施

- ・収穫したお米でおにぎりを作り、守る会の方々与会食した。
- ・稲作体験で学んだことを、プレゼンテーション形式で発表したり、劇を披露したりした。

② 成果

稲作体験を通して、環境問題に目を向けたり、食文化について考えたりすることができた。地域の方々への感謝の心を育むことができた。

<日本文化理解に関する主な活動>

・俳句づくり…国語の授業で俳句の作り方を学び、季節や行事についてなど、年間を通して俳句づくりを行った。

・茶道・琴の体験学習…地域の方々を講師に招き、6年生が、5月に茶道、6月に琴演奏の体験学習を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）

かいどり



稲作体験学習





茶道・琴

